

景観配慮協議申出書

2020年12月21日

(宛先) 鎌倉市長

住所 神奈川県横浜市西区高島1-2

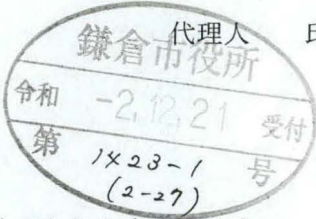
届出者 氏名 京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 原田 一之

電話 045 ( 225 )

住所 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA4F

氏名 M design +architect 一級建築士事務所 松本岳

電話 045 ( 663 ) 7787



法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の名称	住商複合地		
景観地区	■内 ( 鎌倉景観地区 ) □外		
設計者	住所	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA4F	
	氏名	M design +architect 一級建築士事務所 松本岳	電話 045 ( 663 ) 7787
行為の 場所	地名地番	鎌倉市 由比ガ浜二丁目2番10	
	用途地域	近隣商業	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 ■ 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし
	その他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他( )	
行為の 種類	建築物	■新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特定地区	■内 ( ■ 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区 ) □外		
行為の期間	着手予定	2021年4月1日	完了予定 2022年2月28日

(裏)

建築物の概要	用途	ホテル			
	最高の高さ	12.0m	階数	地上 4 階	地下 階
	構造	鉄骨			
	敷地面積	268.35	m <sup>2</sup>		
	建築面積	206.53 m <sup>2</sup>	届出以外の部分	m <sup>2</sup>	合計 206.53 m <sup>2</sup>
	延べ面積	796.10 m <sup>2</sup>	届出以外の部分	m <sup>2</sup>	合計 796.10 m <sup>2</sup>
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	□ 高架水槽 m ■ その他(キュービクル) 2.8 m			
	色彩の変更部分とその面積	面積 m <sup>2</sup>			
	仕上材	屋根	シート防水	色彩	屋根
外壁		樹脂モルタル	外壁		ライトグレー(マンセル値 N-8.5, N7.5)
開発行為の概要	開発区域の面積	m <sup>2</sup>			
	行為の目的	分割 ( 区画 ) (最小区画面積 m <sup>2</sup> )	その他 ( )		
	行為の内容	切土 ( m <sup>3</sup> )	盛土 ( m <sup>3</sup> )	その他 ( )	

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	古い街道沿いの商店街であり、戦前から戦後、近代の店舗が混在する地域的特徴を持つ
ま ち 並 みの 連 続 性	比較的低い建物が立ち並びヒューマンスケールで連続的な街並みを形成している
周 辺 建 物 の デ ザ イン	看板建築や、出し桁造りなどの伝統的な意匠を継承したデザイン
眺 望 景 観	伝統的な建物に倣い比較的低い建物が立ち並び、空への視界が開けるような眺望を備えた景観
景 観 資 源	様々な時代の建物に共通して多く取り入れられている軒の連なり、店先に多く設えられた植栽

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	建物の配置を道路から1.5m以上セットバックし、建物の圧迫感を極力抑える配慮をしている。
形 態 意 匠	◎	周辺の建物が時代に関わらず多く取り入れている軒の出を意匠に取り入れ、周囲との調和に配慮している。
色 彩	◎	ライトグレーを主とした樹脂モルタルを外壁に採用し、周囲から突出するのではなく、周囲に馴染むよう配慮している。
建 築 設 備	○	空調室外機などの機器類は屋上に設置し、道路から見えないよう、道路からセットバックした位置に配置している。
外 構 緑 化	◎	1,5m以上建物セットバックした前面道路側に低木、中木、高木といたった多くの樹種を植栽し、道路側の景観に配慮した

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		